

第5回津別町議会定例会『行政報告』

本日ここに第5回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、第4回定例会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る6月28日、津別町消防功労者 竹山 弘幸 様をご逝去されました。故人は、永きにわたり消防団員として災害の未然防止や町民の暮らしの安全安心に多大なご貢献をいただきました。

また、去る7月8日、津別町社会福祉功労者 中野 輝雄 様をご逝去されました。故人は、永きにわたり、民生委員・児童委員を務められ、本町の社会福祉の向上に多大なご貢献をいただきました。

お二方の生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

次に、ヒグマ出没対応合同訓練についてであります。7月2日、北見方面美幌警察署及び北見警察署、オホーツク総合振興局、津別消防署、北海道猟友会津別支部、津別町からの参加により、温水プ

ール「すいむ」とその周辺住宅地において実施されました。

この合同訓練は、ヒグマが市街地に出没した際に各機関の役割を確認するとともに、ヒグマ個体の搜索及び捕獲方法について検討するもので、本町で初めて行われました。

実際の訓練を通じて各機関の間の連絡体制や、警察官職務法による発砲許可について、ヒグマ個体捕獲の課題が明らかになり、大変有意義なものとなりました。

今後とも市街地への出没対応を含めた有害鳥獣の駆除について、各機関との連携を深めて参ります。

次に、高齢者に対するお祝いについてであります。7月10日に加賀谷 平三郎 様、9月18日に藤原 熊男 様が100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところであります。

次に、ふるさと教育チャーター事業についてであります。7月20日、津別中学校2年生の生徒31名が、女満別空港から航空機に乗り上空から津別町の街並みを見学しました。この日は、晴れ間が見られたものの、低い雲が多く雲の切れ間からの眺めとなりましたが、生徒の感動した声を聞くことができました。また、機内アナウンスにも挑戦し、通常体験することのできない貴重な体験ができ、

中学生にとっても新たな郷土愛を育む事業となりました。今後も継続して実施していきたいと考えているところであります。

次に、筑波大学ラグビー部創部百周年記念式典についてですが、7月28日、会場である東京ドームホテルで行われ出席して参りました。筑波大学ラグビー部は、令和2年からコロナの影響により本町において合宿は行われていませんが、平成11年より21年間にわたり合宿を行っていただきました。式典では、100年の歴史を振り返った映像のなかで、津別合宿の様子も紹介され、改めて本町との関わりの深さを実感しながら観賞したところです。今後、津別合宿が再開されることを心待ちにしております。

次に、農作物の状況についてですが、9月1日現在、すでに収穫を終えた秋まき小麦と飼料用とうもろこしについては、高温の影響により平年より4日早く、春まき小麦については、2日早い収穫となりました。また、玉ねぎ、豆類、馬鈴しょ、牧草の生育は平年並みとなっております。

昨年、褐斑病で全道的に大きな被害が出た甜菜については、生産者による防除により平年並みの生育となっておりますが、最近になり一部で褐斑病が見受けられ、今後の生育が懸念されています。

農作物全般として、高温の影響が懸念されましたが、昨年のように

な降雹被害もなく、平年並みの収穫量が予想されています。今後、収穫作業が最盛期を迎えますが、農作業事故が発生していることから、事故防止に向け、関係機関と更なる連携により適切な指導を行って参ります。

次に、空家等の適切な管理に関する条例に基づき認定した特定空家についてであります。空家等対策の推進に関する特別措置法第22条第10項に基づき略式代執行による除却を9月2日に完了しました。

当該建物は、所有者不存在で令和5年12月4日の火災により焼失し、倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態でありました。所在地の豊永第2自治会からも除却の要請書が提出されており、令和6年5月10日開催の津別町空家等対策協議会において特定空家として認定しております。

今後の空家対策としては、町内の空家の所有者に対して、有効利用を目的とした活用方法等のアンケートを送付するとともに、空家バンクへの登録を推進して参ります。また、空家セミナーを開催して、空家の適正管理に対する意識の醸成を図り、管理不全空家、特定空家の発生を抑制していきたいと考えております。

次に、防災訓練についてであります。9月8日、町内で大規模

な地震が発生したことを想定し、避難所となる小学校体育館において、避難テントや簡易ベッドの設営訓練を行いました。各自治会等から121名が参加して体育館にテント40張、ベッド80台を組み立て、避難所の雰囲気を感じることができました。駐車場では、陸上自衛隊美幌駐屯地による野外入浴設備の展示とドローンの実演、津別消防署による消防資機材の展示紹介を行い、普段なかなか見ることのできない展示物を皆様にご覧いただきました。

また、町民会館においては、津別町赤十字奉仕団による炊き出し訓練も行われ、参加者とスタッフの184名に豚汁とおにぎりが提供され、地元食材がたくさん入った豚汁は大変好評でした。

この訓練に参加した皆様と避難所設営のイメージを共有できたことを心強く思うとともに、協力いただいた関係各位に対しまして深く感謝を申し上げる次第であります。

次に、**第29回つべつふるさとまつり**についてですが、9月9日、10日の両日、一部車道を開放した町道102号線において開催されました。新型コロナウイルス感染症により開催が5年ぶりとなりましたが、町民や実行委員会による手づくりの出店が立ち並び、訪れた多くの皆様に大いに楽しんでいただいたものと思います。

開催運営にあたり、ご尽力いただきました実行委員会、関係者各位に対しまして深く感謝を申し上げる次第であります。

次に、**建設工事等の発注状況**についてであります。9月11日現在、

- 一般土木工事関係については、町道76号線道路改良工事
他20件 175,838千円(81.3%)
- 一般建築工事関係については、相生町有住宅外部改修工事
他14件 1,330,175千円(93.0%)
- 簡易水道・下水道工事関係については、下水道管理センター
建築改修工事 他4件 244,508千円(60.0%)
- 設計等委託業務関係については、上里浄水場紫外線滅菌装置
実施設計業務 他20件 126,953千円(91.4%)

であり、令和6年度予算分について総額1,877,474千円で85.6%の発注率となっており、今後も適時発注に努めて参りたいと考えております。

なお、今議会におきまして、人事案件、条例制定、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。